

「切り株と格闘する (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

※2019 年秋の活動記録です。

山荘の庭にある切り株の中でも、一番多いのがシラカバである。シラカバは高原の雰囲気があつて、樹皮も美しく、どちらかと言えば、多くの人に愛されている樹木だろう。



私の山荘の庭にもシラカバが何本もあった。実は庭にシラカバがあると、ろくなことはない。材が弱くスカスカなので、台風などの強風で簡単に倒れて、建物の壁や屋根を傷つける。枝の樹液も屋根を黒く汚す。



私は 2 年前に、地元の職人さんに頼んで、庭のシラカバを全部切ってもらった。建物を傷つけないように、母屋とガレージの隙間に見事に倒してくれた。切り株は根元から 20cm ほど残して、それより上はすべて短く切って処分してもらった。



これが伐採 2 年後のシラカバの切り株だ。裏庭に車を入れたい時に邪魔で仕方なかった。



そのうち小さいほうと「格闘」することにした。シラカバは材が弱く、伐採後にすぐ死んでしまい、不定芽も出さない。「切り株格闘初心者」にとっては、ちょうど良い相手だろう。しかし伐採後わずか 2 年なので、まだ固そうだ。果たして掘れるだろうか？



通常、切り株を掘り起こすにはユンボ (小型のショベルカー) を使う。しかし今回は「人力」での挑戦だ。「武器」は「丈夫な鉄柄のスコップ」、「猪八戒の熊手」、「片手ノコ」、それに「ネコ」(手押し輪車) である。サア、いよいよ勝負開始である。